



ちよつと気になる数値

市町内会の加入率

各年1月1日現在の数字によると、平成26年78.45%、27年78.44%、28年77.25%で、若干減少しています。

西三河9市で比較してみると、1番高いのが岡崎市の90.12%。ただし、これは市の広報の配布世帯数をもとに算出されています。2番目が西尾市で85.4%、3番目が豊田市の81.82%、4番目が碧南市ということで、以下、安城市が75%、知立市が71.9%、刈谷市が67.1%、高浜市が63%だということです。結果、碧海5市のなかでは最も高い数値です。



名鉄三河線 市内の乗降客数

平成28年度実績で、名鉄三河線全体の乗降客数が3千367万人余、1日平均で9万2千200人余。前年度比で1.4%の増です。

市内の乗降者数は、碧南駅138万人余、碧南中央駅156万人余、新川町駅44万人余、北新川駅110万人余、4駅の合計で、450万人余、1日平均では1万2千300人余、前年度対比で0.5%の増、ここ数年は、乗降客数が毎年微増しているという状況です。

なお、衣浦海底トンネルの27年度通行回数、半田から碧南方向309万回余、碧南から半田方向286万回余、合計596万回余、1日平均1万6千300回余でした。

市の高齢化率

平成28年10月1日現在、市の65歳以上の高齢者人口は1万6千433人で、高齢化率は22.9%です。同時期における県全体の高齢化率は23.9%、全国の高齢化率は27.2%で、県より1%、全国より4.3%低くなっています。

なお、28年10月1日現在の近隣5市の高齢化率は、高い順から、西尾市24.4%、安城市19.9%、知立市と刈谷市が19.3%、高浜市が18.9%で、西尾市に次いで、碧南市が2番目に高くなっています。以上、色々考える基本データです。

碧南の歴史へのいざない

No. 42 碧南市史料 別巻10

碧南出身の人物伝 岡本兵松物語

岡本兵松は明治用水開削の実行者の1人で、今年で没後120年になります。今回は、兵松ゆかりの地を紹介します。

安城市石井町にある児童遊園「石井辻原遊園」です。遊具もある小さい公園ですが、奥に小さな小山があり、そこには岡本兵松の銅像や、記念碑などが建てられています。



△石井辻原遊園（安城市石井町）

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

さらに、小山の手前には、大きい石灯ろうが対で建てられています。これは、兵松が後半生過ごしたこの地に、彼を称えようと銅像を建てることになった際、生まれ故郷の鶴ヶ崎から寄贈されたものだそうです。

2つの石灯ろうの表面には「献燈」と彫られ、写真から見て右側の裏面には「新川町内藤彌作」、左側の裏面には「新川町字鶴ヶ崎區」と彫られています。この立派な石灯ろうを見ると、鶴ヶ崎の人たちも、兵松の功績を称えていたことがわかります。

岡本兵松の偉業を物語にしました。是非お読みください。

碧南市史料 別巻10

碧南出身の人物伝 岡本兵松物語

～弥厚の悲願、明治用水を完成に導いた半生～

販売場所 藤井達吉現代美術館

価格 400円